

みず  
じゅん  
かん  
けい  
かく

# おおさか さやまし 大阪狭山市 水循環計画

OSAKASAYAMA CITY WATER CYCLE PLAN  
—ビジュアル版—

～めぐる「水」ーともに生きる大阪狭山～

(素案)

Q1

トイレの水はどこで  
きれいにされている  
のかな？



Q2

狭山池っていまも使わ  
れている古いため池な  
んだって。いつごろ  
つくられたのかな？



Q3

大阪狭山市にため池  
がいくつあるか知っ  
てる？



大阪狭山市マスコット  
キャラクターさやりん

SAYAMAIKE

Q4

みずべ さくら  
水辺 × 桜がきれいな  
お花見スポットはど  
うる？



こた  
答えはこの中にあるよ

れいわ ねん  
令和5年

がつ  
月

大阪狭山市



発行元

大阪狭山市水資源部

〒589-8501大阪府大阪狭山市狭山一丁目2384番地の1  
TEL072-366-0011(代表) FAX072-367-1254

# 水循環とは？

**健全な水循環の姿**

「健全な水循環」とは、人の活動と環境保全に果たす水の機能が適切に保たれた状態をいいます。

**持続可能な水利用**

きれいな水が絶えることなく届き、あらゆる形でいつでも水の恵みを受けることができる。



## 水循環基本法

法律がまもる  
水循環基本法

水循環基本法は、平成26年(2014年)4月に制定されました。この法律は、近年の社会情勢や気候変動などの要因から健全な水循環を維持または回復するために、水循環に関する施策を総合的かつ一貫的に推進することを目的としています。



## 水循環基本計画

計画がまわす

水循環基本計画は、水循環基本法に基づき平成27年(2015年)7月に策定されました。この計画は、健全な水循環を維持または回復するために、水循環に関する施策を総合的かつ計画的に進めることを目的とし、我が国の水循環の基本となる計画として策定されました。



## 大阪狭山市水循環計画

### 計画は？

大阪狭山市の健全な水循環を維持するための取組みを市民、行政、事業者などが連携することが重要です。さらにこの取組みを成熟させ、持続可能なまちづくりの役割を全国に先駆けて果たしていくことが期待されるため、「大阪狭山市水循環計画」を策定しました。



**なぜ水は大切なの？**

水は、あらゆる生命の源であり、生活に欠かすことができない大切な資源です。この貴重な水資源が汚染されると安心して使える水の量が足りなくなってしまうかもしれません。

**水を淡水と言いますが、これは地球の水の約2.5%しかありません。**

## 水の日を知ってる？

貴重な水資源や健全な水循環の理解と関心を深めることを目的に、8月1日を「水の日」と定めています。今はあまり水に不自由を感じませんが、昔は渇水によって給水車が出动するなど、水資源開発や水を大切にすることは、重要な課題でした。

水は、正しく循環させないといけないんだよ。



資料：内閣官房水循環政策本部事務局のイラストを一部改編

おおさか さやまし みず じゅんかん けいかく

## 第2章 大阪狭山市の現状と課題

大阪狭山市  
の  
水資源  
現状

大阪狭山市には、水循環に関する水資源が豊富にあります。

### 下水道(雨水)

雨水を集めて川に流す下水道(雨水)は、市域を7つの排水区に分けて整備されており、効率的に川へ排水しています。

### 上水道

淀川から取水した水を浄化して、配水池から市内全域に安全でおいしい水を供給しています。

### 地下水

大阪狭山市地下には、豊富な地下水が蓄えられています。水質は良好で、過去には水道水源として利用されていました。

### 農地

新鮮な農作物を生産するとともに、雨を一時的に貯留し、水質を浄化するなどの多面的な機能があります。しかし、農家数が減少し、農地も少なくなっています。

### ため池

大阪狭山市には、ため池が113か所もあり、市内全域に点在しています。農業用水として利用されてきましたが、水辺空間には多様な生物が生息し、また人の生活にも密接に関わっています。

Q3の答え



### 下水道(汚水)

### 下水道(汚水)

おふろやトイレなどで使った水は、下水管(汚水)で集めて、水みらいセンターに運び、きれいにしてから自然に返します。大阪狭山市の下水道普及率は、ほぼ100%です。

Q1の答え



### 水循環に影響を与えること

### 人口減少

大阪狭山市の人口は、2045年に50,370人まで減少すると予測されています。これにより、水循環を支える人の減少が推測されます。

	平成27年 (2015年)	令和27年 (2045年)
総人口	57,792人	50,370人
年少人口	7,932人	5,780人
老年人口	15,544人	19,150人

### 農家数の減少

大阪狭山市の農家数は、1985年の594戸から2015年の320戸に減少(約46%減少)しています。農家数が減るとため池を管理する人が足りなくなって、悪臭やため池の破壊につながります。

大阪狭山市農家数の推移



今後、ゲリラ豪雨などにより、道路冠水などの浸水被害が増えることが推測されます。



写真: 池尻北付近の浸水被害状況(平成11年6月)

### 気候変動

短時間豪雨(ゲリラ豪雨)の回数が増えています。

### 近畿地方の短時間豪雨の平均年間発生回数の推移

1979年～1988年の10年間の平均  
約1.5回/年

2011年～2020年の10年間の平均  
約2.6回/年

## 健全な水循環の実現のために、解決が必要な課題

### 1.気候変動により浸水被害が増加する可能性があります。

### 2.農家数の減少により、ため池の管理体制が弱体化する可能性があります。

### 3.人口減少により、水資源を管理する人が減少し、そこに住む人々のなかで水に対する興味・関心をもつ人が少なくなる可能性があります。

課題を解決するポイントは…  
**3つの柱と8つの施策**

### 近くで遠い 水問題

水辺との距離は近いが、興味・関心がないこと  
身边な水について考えよう



# 未来の姿



この未来の姿は、大阪狭山市における健全な水循環の姿を表しています。

## 上水道

安全でおいしい水を供給しています。

## 地下水

豊富な地下水を利用しています。

## 農地

新鮮で安全安心な農作物を生産しています。

## 狭山池

治水と利水機能を発揮し、池周辺はたくさんの人で賑わっています。

## 3つの柱

### 水から守る

すいがい 水害への対策を強化

水害対策を強化し、将来にわたり、私たちのまちを守ります。

### 水を活かす

みずしきん 水資源を活かした地域振興  
みずべくうかん 水辺空間をさまざまな用途で活用し、地域活動を活性化します。

## ~めぐる「水」ーともに生きる大阪狭山~



未来の姿は、環境変化に応じて、見直していきます。

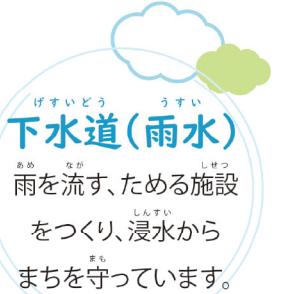
### 水を育む

じせだい 次世代に水を引き継ぐ

水への理解と行動力を育み、次世代に健全な水循環を引き継ぎます。

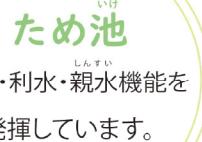
## 8つの施策

3つの柱に基づいた活動です。各施策には多くの具体的な取組みがあります。



## 下水道(汚水)

よごれた水をきれいにして、川へ流しています。



## 河川

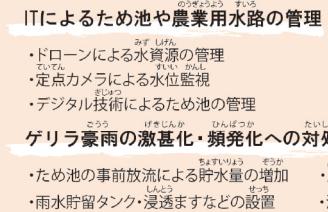
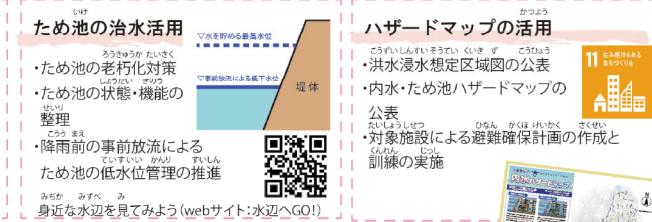
安全に水を流すことができるよう管理され、浸水被害からまちを守っています。



# 1 治水

安心に暮らせる  
く  
あめ  
すいがい  
へ  
とりく  
雨による水害を減らす取組みです。

現在の取組み



未来の取組み



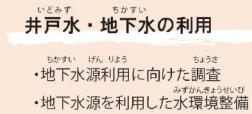
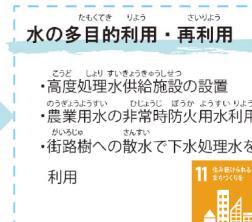
# 2 利水

水を大切につかう  
たいせつ

水をさまざまな形で活用する取組みです。



現在の取組み



他にも「いろんな取組み」を考えてみよう！

・デジタル技術によるため池の管理  
・デジタル技術によるため池の遠隔操作  
・利き水大会の開催  
・下水処理で生じた汚泥の肥料活用リサイクル  
・水やエネルギーを活用した農業と福祉の連携事業  
・狭山池の利水地域と連携した活動

# 3 教育

水を次世代につなぐ  
じせだい

みらいに水を引き継ぐ取組みです。

現在の取組み

学校での水に関する学習

- ・水に関する前講座
- ・水に関するデジタル教材の貸与
- ・内水・ため池ハザードマップの公表
- ・対象施設による避難確保計画の作成と訓練の実施



4 水教育イベントの実施



未来の取組み

地域の人材育成メニューの拡充

- ・地元防災指導者育成講座の開催
- ・地産地消による食育講座の開催
- ・農福連携による体験事業の実施
- ・講演会など生涯学習機会の提供



デジタル技術を活用した学習機会の提供

- ・スマートフォンを利用した水辺調査・水環境学習
- ・YouTubeを利用した動画配信
- ・VR体験コンテンツの制作



# 4 広報

大阪狭山の今を届ける  
いま とどく

水に関する情報を知らせる取組みです。

現在の取組み

SNSの活用

- ・Instagramフォトコンテスト
- ・LINEによる水の紹介



地域での情報発信

- ・広報おさかさまやの発刊
- ・市特命大使による魅力情報発信
- ・狭山池シンポジウムの開催



未来の取組み

SNSの活用拡大

- ・水の魅力のYouTube配信



PR活動の拡大

- ・公共施設のPR活動などの活用
- ・狭山池、大阪府立狭山池博物館のさらなる活性化

大阪狭山市 YouTube チャンネル



# 5 生態系

## 水で生きものを豊かにする

水と生きものが共生する取組みです。



### 現在の取組み

#### 生物の生息環境の保全

- ・ヒメボタルの保護・育成
- ・狭山池バタフライガーデンの整備・管理
- ・野鳥の保護



#### 水辺環境の整備

- ・さまざまな人による狭山池周辺清掃活動
- ・市民協働による、河川の除草・清掃活動



#### 水辺の生きものの調査

- ・ヒメボタルの調査・保護講座開催
- ・水辺でのバードウォッチング



#### ビオトープの整備

- ・学校敷地内や校区内のビオトープ整備や維持管理の支援



他にも「いろんな取組み」を考えてみよう！

- ・市民協働による植林・植栽の管理
- ・生物観察会の開催
- ・植物・昆虫などのフィールド調査
- ・絶滅危惧種・外来種などに関する学習会の開催

# 6 景観

## 水が景色をいろどる

美しい水辺を守り、創出する取組みです。



### 現在の取組み

#### 川・池・緑地・公園の整備

- 11 川・池・緑地に掛ける取り組み
- 13 美しい水辺に掛ける取り組み
- 15 水辺を守る取り組み



#### 川・池の除草・清掃

- ・市民協働による、河川の除草・清掃活動（アドトリバーバログラム）
- ・各地域での水辺関係美化活動
- ため池の池干し
- ・水質改善対策として狭山池の池干し



#### ため池を中心としたフォトスポットの整備



#### phatspot



他にも「いろんな取組み」を考えてみよう！

- ・ため池の周辺整備
- ・農業用水利用ができないため池の親水公園化
- ・ボランティアの育成
- ・不法投棄防止への啓発活動

# 7 観光

## 水がまちを魅力的にする

水でまちを活性化させる取組みです。



### 現在の取組み

#### 特産品・名所のPR（一例）

- ・狹山池ダムカレー
- ・大野ぶどう



#### 水辺を活用した観光

- ・狹山池ライトアップ
- ・イルミネーション（狹山池北堤：春・冬）
- ・狹山池まつり
- ・狹山池底＆博物館



# 8 コミュニティ

## 水に人が集う

水で住民をつなぐ取組みです。



### 現在の取組み

#### ウォーキングコースの設定

- ・史跡講習とウォーキング



### 未来の取組み

#### 人が集まる施設の整備

- ・ボート・水遊び・釣りのできるため池整備
- ・ため池周辺の整備とウォーキングラリー
- ・河川の公園化



他にも「いろんな取組み」を考えてみよう！

- ・泥んこバレー
- ・池や水辺を巡るウォーキングマップの作成
- ・水やエネルギーを活用した農業と福祉の連携事業



## 推進体制

有識者、本市の水循環に関連する団体や行政機関の代表などが参画する「大阪狭山市水循環協議会」を大きな一つの軸とします。  
関係者のコミュニケーション・協働・連携を促進します。



水循環協議会のようす

## 進行管理

本計画の期間は、令和5年から令和14年までの10年間です。本計画をよりよくするために水循環協議会を中心にPDCAサイクルを回し、5年ごとに中間見直しを行います。

**大きなPDCAサイクル**  
5年ごとに、大阪狭山市水循環計画の見直しを進めています。

**小さなPDCAサイクル**  
毎年、8つの施策に含まれる具体的な取組状況を確認していきます。

大阪狭山市水循環協議会  
関係者間で情報を共有することにより、より良い施策の実施につなげます。

## 各施策

## 多様な関係者が実施



治水



利水



教育



広報



生態系



景観

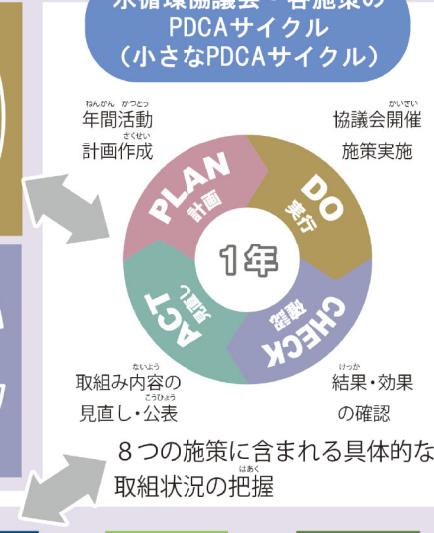


觀光



Community

## 進行管理

大阪狭山市水循環計画のPDCAサイクル  
(大きなPDCAサイクル)水循環協議会・各施策のPDCAサイクル  
(小さなPDCAサイクル)みんなで支える  
水循環

## 推進体制

## 今後考えられる取組みの例

## 推進体制の強化

- ・商工会などの関連団体からの意見収集
- ・民間事業者のオブザーバー参加
- ・ホームページ・SNSなどを活用した情報発信
- ・協議会運営を支援する人材・財源の確保

よりよい形に  
見直していくよ！



自治会地区会連合会、  
まちづくり円卓会議  
などを通じた  
協議会参画

市民

協議会傍聴、  
意見・提案

各施策への参加・  
新たな施策の  
提案・実施

## 今後考えられる取組みの例

## 協議会の支援・強化

## 水循環学習会

学習会の開催により、水循環の理解を深めるため、「水」をキーワードに研究・取組みを行っている方に講演していただきます。

## 水マイスター・表彰制度

本市の水循環に寄与する個人・団体を「水マイスター」に登録し、水に関する魅力的な活動を表彰するなど水循環の取組みの環を広げます。

# 用語集

用語	解説
第1章 計画の基本的なこと	
みず 水インフラ	河川、上下水道、ため池などを指す。インフラは、インフラストラクチャーの略で、「基盤となるもの」を意味する語であり、社会が経済・産業・生活を営むために不可欠な設備・制度・サービスなどを指す。
かっせい 渴水	河川の管理を行うに当たり、降雨が少ないなどにより河川の流量が減少し、河川からの取水を平常どおり継続するとダムの貯水が枯渇するなど、利水者が平常時と同様の取水を行うことができない状態。
すいげん よう 水源かん養	森林に降った雨がすぐに森林などから流れ出ることなく、地中に浸透し、地下水となりゆっくりと流れ出ることで洪水や河水が緩和されたり、澄んだ水にしたりする働きのこと。
りゅういき 流域	河川に雨水が流入する水系単位の地域に加えて、地域の特性と実情に応じ、地下水が涵養・浸透・流出・滞留する地域、水を利用する地域、陸域からの影響が及ぶ沿岸域を含め、人の活動により水循環への影響があると考えられる地域のこと。
せいいたいせい 生態系	土や水、太陽、光エネルギーが源として、地球上に生息する植物や動物、微生物などのすべての生きものが、生きものとそれらを取り巻く環境がお互いに関わりあいながら、形づくる仕組みや働きのまとまりのこと。
第2章 大阪狭山市の現状と課題	
えいのくらい 営農者	農業を営む人のこと。
みず 水みらいセンター	大阪府で運営する終末処理場のこと。大阪府では2006(平成18)年に従来の終末処理場から改称された。本市の汚水は、今池、狭山の2つの水みらいセンターに送られ処理が行われている。
しんすい 親水	水や川に触れることで、水や川に対する親しみを深めること。
すいげん 水源	川などの流れ出るもの。または用水(農業用水、工業用水)や水道(上水道、簡易水道)として利用する水の供給源。
いわ ため池	降水量が少なく、流域の大きな河川に恵まれない地域などで、農業用水を確保するために水を貯え取水ができるよう、人工的に造られた池のこと。全国に約16万ヶ所存在し、特に西日本に多く分布している。
ごう ゲリラ豪雨	限られた地域に対して短時間に多量の雨が降ること。現在の日本においては一般にも学術用語にも用いられるが、雨量などに基づいた定量化はしていない。
はいすい 配水池	消毒が全て完了した浄水を配水する前に一時的に蓄えておく施設。
こうせい 洪水	大雨などによって、水量が著しく多くなること。河川から水があふれ、氾濫すること。
しんすい 浸水	洪水による氾濫や大雨によって、排水能力を超えて、住宅や農地に水が浸かること。
第3章 未来の姿	
りつい 利水	河川や河川に伴う遊水池、ため池などから水を引き、その水を利用すること。
ちずい 治水	堤防やダムを築いて、洪水を防いだり、川の水を利用しやすくしたりすること。
第4章 施策について	
いけほ 池干し	池や沼の水をくみ出して泥をさらい、天日に干すこと。搔い掘り(かいぼり)などのよひ方もある。農業用のため池を維持するために行われてきた、日本の伝統的な管理方法。
いどめ 井戸水	地中にある水脈からくみ上げられた水のこと。
ビオトープ	生物が互いにつながりを持ちながら生息している空間を示す言葉だが、特に、開発事業などにより環境の損なわれた土地や都市内の空き地、校庭などに造成された生物の生息・生育環境空間を指す。
第5章 計画推進のための取組み	
PDCAサイクル	品質管理や業務管理における継続的な改善方法。Plan(計画)→Do(実行)→Check(確認)→Act(見直し)の4段階を繰り返して業務を継続的に改善する方法。
きよ 寄与	力を尽くして社会や人のために役に立つこと。

memo

